

# トピック

## 技術講演と新製品発表展開催

——共和電業単独展・東京にて開催——

あすの計測をリードするセンサ、システム、ソフトウェアをテーマに株式会社共和電業の《技術講演と新製品発表展》がさる4月15日(火)、16日(水)東京・国電有楽町駅前の東京交通会館で開催され、約3,400名の来場をいただいた。

技術講演では、今回特別講演として計測技術について経験豊富な関東学院大学工学部教授藤芳利光先生および電源開発株式会社総合技術試験所所長馬場恭平先生に講演いただいた。藤芳先生の内容は長年ひずみ計測に携わってきた豊富な経験をもとに、ひずみ測定の入口から出口までの技術変遷について、また馬場先生は、海外の土木計測の事例をまじえて計測の基本および将来のあり方についてであり、深い感銘をうけた。

特別講演以外の技術講演は、『計測におけるパソコンの応用』、『スパッタ方式によるひずみゲージと新圧力変換器』および『PCM方式によるデータレコーダの高性能化』で多数の方のご聴講をいただいた。

多数の新製品が展示されたのでご紹介する。マルチコンデショナシステム(MCSシリーズ)は、新しい思想から誕生した計測器で、動ひずみ測定器、シグナルコンディショナ、ローパスフィルタ、絶縁増幅器などのカードをベースに装着することにより、目的にあったコンディショナとなる未来思考型の計測器として注目された。

またデータレコーダは、ビデオカセット式RTP-650B、610B、コンパクトカセット式RTP-550Aは、新しい機能を搭載して登場した。すなわち、アナログデータを多重化して記録できるPCMシステムと、MCSシリーズと組み合わせてMCSシリーズのステータスをテープ上に記録できるカードステータス記録システムである。測定器関係では、データログとしてデータロギングシステムUCAM-10Aが、ハンディストレンメータとしてUCAM-1Aが発表された。

変換器関係では、スパッタ方式高信頼圧力変換器(PHS-A)、小型

三軸加速度変換器(AS-TB)、などの変換器。土木用変換器として小型応力計(BR-U)、角度計。さらに生産ライン自動監視用モニター、履物製品の内面計測装置および椅子の座面形状計測装置(中小企業事業団殿ご提供)、その他応用計測システムも多数展示した。

また共和電業の関連企業である(株)ケイエスディも参加し、同社の計測ソフトウェアを実動展示した。

